
人魚が住む森

麻森 麻林

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

人魚が住む森

【Nコード】

N9469J

【作者名】

麻森 麻林

【あらすじ】

男の人が森に行ったりする話です

ふしぎな森

小さいころから方向音痴だったとはいえ、まさかこんな森に迷い込んでしまうなんて僕は自分でも信じられなかった。

友人との待ち合わせ時間まで、もう三分もない。

腕時計にむかってため息を吐き、もう一度あたりを見回す。

どうしてこんなところまで来てしまったのだろう

眩しいくらいの、美しい緑の森。

しかし、その美しさ故にどこか不気味でもあった。

ここでじっとしているなんて僕には耐えられそうに無い。慎重に、歩を進めてみる。

ぬかるんだ地面を、僕の足が踏んでいく。

すると、突然僕は水中にいるような感覚にとらわれた。

ゴボ、と、耳の奥で音がする。

僕は水面を見つめていた。

ああ。

太陽の光で輝いている。

僕の身体も。

そして、泡の音と一緒に微かに聞こえてくる声。

「此処へ来てはいけない……逃げて」

歌うような、響くような、女性の声。
きみは、誰。

ゴポポッと、耳元で泡の音が聞こえて、僕は我に返った。

冷たい風が吹く。木の葉が揺れ、僕はただそこでつつ立っていた。
振り向くと、森の出口はすぐそこにあった……。

ふしぎな森（後書き）

どうもこんにちは。作者の麻森です。

続くかどうか怪しいですが……

できるだけ頑張って書き続けたいと思いますので
よろしくお願いいたします。

幼馴染

「遅い！ もう、帰っちゃおうかと思ってたのよ！」

待ち合わせ場所に着くと、友人の絵梨は怒っていた。僕は苦笑してしまう。

「ごめんごめん。また、迷っちゃって……」

絵梨は半ば呆れたような表情でこちらを見る。

「もう、悠ってなんでそう方向音痴なの？ 地図でも持って歩けばいいじゃない」

絵梨は、まあ友人というより……幼馴染ってやつだ。

僕が幼稚園の時に隣に引越してきたから高校二年生になった今まで、「友達以上恋人未満」の関係がずっと続いている。

今日は久しぶりに二人でどっか行こうかって話になって、とりあえず駅前で待ち合わせしてたって訳だ。

……僕はどっやって駅前と森を間違えたのだろう。

「何ボーっとしてるの？ こんなところにいつまでもいないでさ、どっか行かないの？」

「ああ、悪い悪い。じゃ、久しぶりに例の喫茶店でも行こうか」

「あ、やったあ！ 悠、待ち合わせ時間遅れんだだから奢りなさいよ」

そんな会話をしながら、僕は駅前から徒歩五分の喫茶店に入って
いった。

聞こえる音と

絵梨と話していても、どうしてだろう、海の泡の音が聞こえる。耳の奥。

「でね、そのときのリカッたら……」

ゴポポツ……。

「逃げて」。女の声を思い出す。

僕は今、どこにいるのだろうか。

森か、海か、それとも

「……悠、どうかした？」

僕は、はっとする。気付けば、絵梨が心配そうに僕の顔を覗き込んでいた。

そうだった喫茶店にいたんだよ僕は。

「い、いや、ごめん、なんでもない」

絵梨は少し苛立ちを感じていたようだった。

しかしそれ以上に意地の悪い笑みを浮かべて言う。

「……ポーっとする癖、悪化したんじゃないの？ それとも好きな女の子でもいるとか」

そんな絵梨を見ていると、僕もつい笑ってしまう。

「ばか言つなよ。まあ確かにポーっとする癖は悪化したかもな」

「あたしの話はそんなにつまらないかしら？」

「え、いやごめんそういうわけじゃあうにゃうにゃ……………」

僕がたじろぐと、絵梨はふきだした。

ああ、変わってないな、絵梨。

僕はなんだか安心して、その後は普通に絵梨と遊んで、一緒に帰ったのだった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9469j/>

人魚が住む森

2010年10月21日23時04分発行